

## 医学研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

福井大学医学部 地域プライマリケア講座では、福井大学医学系研究倫理審査委員会の承認および医学系部門長の許可を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や利用目的の詳細など研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

福井大学医学部 地域プライマリケア講座

### 【研究課題名】

独居高齢者の健康の社会的決定因子(Social Determinant of Health:SDH)探索におけるインタビュー調査研究

### 【研究期間】

医学系部門長承認日～2024年3月31日

### 【研究の意義・目的】

高齢化対策の世界的モデルとなることが求められている日本。特に、高齢化率の上昇よりも単世代率・高齢者独居率の急速な上昇に対して今後喫緊の対応が迫られる場面が増えることは想像に難くありません。生涯未婚率も上昇が続いており、今後も独居高齢者は高齢化率以上に上昇することが予想されます。「家族」とつながれない独居高齢者は「地域」や「社会」とつながるべきなのか、そもそも独居高齢者に必要なヘルスサービスとはどのようなものなのか、など、独居高齢者と地域の在り方に関しては今後さらなる議論の深化が必要と見込まれます。

地域のつながりや支え合いは社会疫学の分野において、生活習慣や健康行動の背景に存在する健康を規定する社会的要因、すなわち健康の社会的決定要因 (Social Determinant of Health:SDH)として研究され (Am J Public Health, 87, 1491-8, 1997/ Health Serv Res 34, 215-27, 1999 など多数)、寿命や健康寿命、メンタルヘルスとの深いかかわりが証明されており近年目覚ましい発展を遂げています。独居高齢者においては既知の SDH のうち家族・婚姻状況や職業・職場は無視され、代わりに未知の SDH が影響を及ぼしている可能性があります、その内容について確認・言及された文献は見当たりません。

本研究では独居高齢者が果たして地域でどのような支援を得ると「良い」～自立し、健康寿命を延伸でき、生命の質 (Quality of Life) を維持できる～のか、またどのようなヘルスケアサービスや社会福祉サービスが地域独居高齢者に望ましいのか、そもそも、独居高齢者は地域のつながりや支え合いに何を期待しているのか、地域でどう生きていくのかを質的研究を用いて本質的に明らかにすることを目的としています。言い換えると、独居高齢者は地域・社会に何を求め、また、地域・社会は独居高齢者に何ができるのか、その関係する既知/未知の SDH を明らかにし、日本がこれから迎える独居高齢者の急増に立ち向かう社会的処方礎を提言することを目的としています。

## 【研究の内容】

### 1. 研究の対象となる方

福井県高浜町在住の 65 歳以上の高齢者 3,200 人のうち独居状態であるものは約 500 名です。独居状態の高齢者より、性別および年齢に偏りのないように留意してスノーボールサンプリングした約 20 名を対象とします。

### 2. 研究に用いる試料・情報

研究対象者に対してインタビューガイドを用いた半構造化インタビューを実施しその内容を IC レコーダーで録音し、逐語録を作成します。またインタビュー中には参加者の様子・態度、雰囲気の意味関わることを書きとめ、言語外データとして解析に使用します。

なお、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、個人を識別できる情報は削除し、公表しません。また、取り扱う試料・情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。

### 3. 研究の方法

上記2で得られたデータから独居高齢者に関する未知なる SDH を、Charmaz (2000) が提唱する Constructive Grounded Theory (GGT) approach

を用いて、探索的に調査・解析します。

#### 【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係(資金提供など)によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

#### 【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書及び研究の方法に関する資料に関しては、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手又は閲覧が可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

#### 【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

《福井大学における個人情報保護について》

[http://www.u-fukui.ac.jp/cont\\_about/disclosure/privacy/](http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/disclosure/privacy/)

#### 【本学における研究責任者】

福井大学医学部地域プライマリケア講座 教授 井階 友貴

#### 【本研究に関する問い合わせ窓口など】

○問い合わせ窓口

福井大学医学部 地域プライマリケア講座

〒919-2201 福井県大飯郡高浜町和田 117-68 和田診療所内

電話:0770-72-6136

福井大学医学部地域プライマリケア講座 教授 井階 友貴

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3  
福井大学医学部附属病院医学研究支援センター  
電話:0776-61-8529  
受付時間:平日 8:30~17:15(年末年始、祝・祭日除く)